

兵庫県丹波市における関係人口増加を通じた地域振興の取り組み

#関係人口増加
#移住政策



関西大学佐治スタジオにて

DATA

- 主な連携先・メンバー
丹波市 / NPO 法人佐治倶楽部
- 活動地域
兵庫県丹波市
- 活動期間
2024年6月1日～2025年3月31日
- 活動資金
地域連携活動に対する補助事業

目的

地域住民や関係人口の意識に着目し、学生の目線を活かした新たな地域の可能性を発見すること。

連携に至る経緯

人口減少や地域経済の停滞、交通問題に悩む自治体は多い。こうした問題の解決策を探る自治体の協力を得て、学生と共に活動してきた。丹波市からは、「移住者増加」「関係人口増加」「公共交通施策」「新たな住まいの区域の形成」が、NPO 法人佐治倶楽部からは、「高校統合問題」「就業・起業の不足」「空き家・空き地・耕作放棄地・活用されていない山林」といった課題が提示された。

活動内容

- ・丹波市訪問（2024年6月）
本西ゼミ学生20名、関西大学佐治スタジオの訪問、移住相談を行っている一般社団法人Be代表者の講義、柏原地区の見学などを行った。
- ・インタビュー調査
学生が一般社団法人Beや現地の祭りを訪問したり、市役所とオンライン（Zoom）で接続し、インタビュー調査を実施した。
- ・アンケート調査・データ分析
訪問・調査に基づきアンケートを作成し、兵庫・大阪・京都在住の一般の方々および関大生を対象に実施した。その後データ分析を行った。
- ・大学のゼミ大会において研究成果の報告（2024年12月）



かいばら観光案内所にて調査



移住相談について講義



丹波市立小学校訪問

活動の成果

- ≫ 実際に現地を訪問し、現地の方々から直接話を聞く機会を得たことで、移住政策の具体性が一層深まった。
- ≫ アンケート調査によってより客観的な資料の収集ができた。
- ≫ 研究成果を報告することで、学生にも教育面で還元した。

今後の課題・目標・展開の可能性

- ≫ 成果の還元方法（政策提言・セミナー・講演会など）の模索
- ≫ 兵庫県「(丹波地域) 学生等による地域貢献活動推進事業」、関西大学・丹波市連携事業推進協議会「丹波市内での調査・研究活動支援事業」へ申請予定

経済学部 教授 本西 泰三 Motonishi Taizo



経済政策を教える中で、具体的な政策提案につながる教育の重要性を痛感し、学生には常に市の担当者や市民から得られる生の声を重視して研究を進めるよう指導している。

